

The Whisper from Amherst

エミリーのささやき

夏の正午の強い日射しの中で、二匹の蝶が戯れている姿をきくとエミリーは窓からながめていたのでしょうか。真夏の屋内と屋外は昼と夜ほどの明暗の差があるように感じられます。限りある視界で目を凝らしても、エミリーの弱い視力ではひらひらと舞う蝶の動きを追いかけるには限界があります。見失うのは時間の問題。でもそこはエミリーの想像力で蝶はどこまでも飛んでいきます。エミリーの魔法にかかった蝶たちはなんて幸せなのでしょう。

‘Two Butterflies went out at Noon —’

Two Butterflies went out at Noon —
And Waltzed upon a Farm —
Then stepped straight through the Firmament
And rested, on a Beam —

And then — together bore away
Upon a shining Sea —
Though never yet, in any Port —
Their coming, mentioned — be —

If spoken by the distant Bird —
If met in Ether Sea
By Frigate, or by Merchantman —
No notice — was — to me —

正午 二匹の蝶が出かけ
畑のうえでワルツを舞った
それからステップを踏んで天空を横切り
一条の光のうえで休んだ

それから 一緒に
輝く海へ向かった
でもまだ聞いていない
どこかの港に入ったとは

遠くで鳥が 話したかもしれない
フリゲート艦や商船が
エーテルの海で会ったかもしれない
でもわたしには 何も知らせがない